



ねん ど
2024年度
にほんごがっか にゆうがくようこう
日本語学科 入学要項
(J1)

ねん がつにゆうがく
2024年4月入学

ねん がつにゆうがく
2024年10月入学

よこはま がくいん せんもん がっこう
横浜 YMCA 学院 専門 学校

けんこう ふくし せんもん がっこう
YMCA 健康 福祉 専門 学校

よこはま がくいんせんもんがっこう
★横浜 Y M C A 学院専門学校★

横浜 Y M C A 学院専門学校 日本語学科では、本格的な日本語の習得を目指して「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能全てにわたる総合的な日本語力を養成します。専門学校・大学・大学院への進学や日本語を仕事に役立てたい方に最適です。

■コース：学習の目的に応じて二つあります。

コース名	開始時期	学習期間
A 日本語本科	2024年4月	1年 (2024年4月～2025年3月)
	2024年10月	1年 (2024年10月～2025年9月)

★入門レベルから中級レベルまでの日本語力を養成します。日常生活に役立つ基礎的な日本語によるコミュニケーション力が身につきます。

コース名	開始時期	学習期間
B 日本語・文化研究科	2024年4月	1年 (2024年4月～2025年3月)
	2024年10月	1年 (2024年10月～2025年9月)

★上級レベルの日本語力を養成します。進学や就職など社会生活の様々な場面で役立つ実践的な日本語によるコミュニケーション力が身につきます。

※日本語本科を修了した学生は希望すれば日本語・文化研究科に進み、最長で2年間日本語を学ぶことができます。

※所定の期間在籍し、出席と成績の条件を満たした学生に卒業証書を発行します。

■定員：総定員120名（日本語本科80名、日本語・文化研究科40名）

※各クラスの人気は最大20名となります。

■授業時間：●A・Bコースは一日5時間、月曜日から金曜日まで週5日間
 （週25時間、年間36週・900時間）

ホームルーム H R	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目
9:00～9:10	9:10～10:00	10:10～11:00	11:10～12:00	13:00～13:50	14:00～14:50

※土・日・祝日は休みです。

※長期休暇があります。詳しくは年間予定表をご覧ください。

☆夏休み（7月下旬から8月中旬まで約3週間）

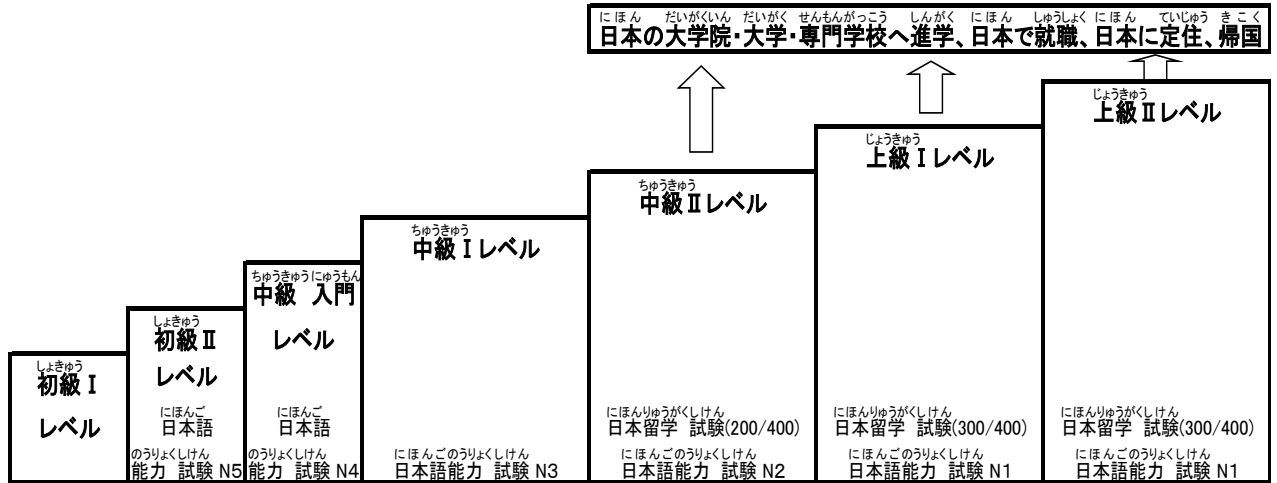
☆秋休み（9月中旬から10月上旬までの約3週間）

☆冬休み（12月下旬から1月中旬までの約3週間）

☆春休み（3月中旬から4月上旬までの約3週間）

- 入学資格: ① 出身国において12年間の学校教育を修了している方、または出身国において大学等の高等教育機関への入学資格を有する方
- ② 日本語学科への入学には日本語能力検定試験N5（日本語学習150時間程度）相当の日本語力が必要です。
- ③ 日本語・文化研究科への入学には日本語能力試験N2相当の日本語力が必要です。
- ④ 日本在住の連絡人がいる方

■ レベル:



期間	6ヶ月		6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	
メインテキスト	みんなの日本語 I	みんなの日本語 II	中級へ行こう	中級を学ぼう	テーマ別中級から学ぶ日本語	新・中級から上級への日本語	国境を越えて
科目	漢字・LL・読解・会話・作文		漢字・LL・速読 会話・作文	漢字・LL・会話 作文・文法・活動	漢字・LL・会話 作文・文法・活動	漢字・LL・会話 作文・文法・活動	漢字・LL・会話 作文・文法・活動
レベルの目安	ごく簡単な表現から基本的な日本語を理解することができる。日常生活での身近なことがらについて簡単なやり取りができる。		日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。社会生活での身近な話題について自分の意見とその理由を簡単に表現できる。	日常的な場面で使われる日本語の理解に加えて、幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。社会生活での幅広い話題について明確に自分の意見を表現できる。	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。様々な話題について目的に合った適切な言葉を使い、論理的な主張や議論ができる。		

■ ビザの種類: 留学ビザ（1年3か月）

※日本語本科から日本語・文化研究科へ進学する場合は、学校が期間更新（ビザの延長）の手続きを行います。1年の延長ができます。

■出願期間：

コース名	入学時期	出願期間	入管申請	入管結果通知
日本語本科 日本語・文化研究科	2024年4月	2023年10月2日（月） ～11月30日（木）	12月中旬	2月下旬
	2024年10月	2024年4月1日（月） ～5月31日（金）	6月中旬	8月下旬

※出願期間中でも定員になりましたら、出願を締め切る場合があります。

■出願手続：9ページをご覧ください。

■学費：各コースの学費は以下の通りです。

コース名	入学金	授業料	施設費	合計
日本語本科 日本語・文化研究科	100,000円	710,000円	20,000円	830,000円

※上記以外に教材費など諸経費（6か月毎に20,000円）が必要になります。

※入学時の日本語力に応じた入学金の減免制度があります。詳細は別紙をご覧ください。

各コースの学費は半年ごとの分納ができます。

支払い時期	入学金	授業料	施設費	合計
入学時（4月/10月）	100,000円	355,000円	10,000円	465,000円
8月/翌年2月				365,000円

※一旦納入された学費は日本大使館・領事館でビザの発給を拒否された場合に限り、全額をお返しします。その他の理由で返金することはできません。

■在日連絡人：9ページをご覧ください。

■経費支弁者：9ページをご覧ください。

■その他：《学生寮》

宿舎が必要な方には学校契約の学生寮・提携不動産会社を紹介し、在日連絡人の方を通じて相談してください。

本校の学生は横浜市国際学生会館の入居資格があります。

《奨学金》

留学ビザで本校に6ヶ月以上在籍し、成績・出席状況が良好な学生には選考の上、下記の奨学金が受けられます。

- ①横浜YMCA学院専門学校日本語学科奨学金（月10,000円、6ヶ月間、4名程度）
- ②文部科学省外国人留学生学習奨励費（月48,000円、1年間か6ヶ月間、2名程度）
- ③共立国際交流奨学財団・奨学金（月60,000円、1年間、1名または採用なし）

《国民健康保険》

留学ビザの学生は全て「国民健康保険」に加入することが必要です。病院や薬局で支払う医療費が30%になります。毎月の保険料（1,000円から2,000円）を学生本人が支払います。

《通学定期》

通学定期の購入と学割の発行が可能です。

《専修学校学生災害傷害保険》

学校の活動の中での災害や事故による死亡・入院・通院について補償します。保険料は学校が支払います。

《健康診断》

学校が費用を負担し、1年に1回健康診断が受けられます。

《ボランティア・チューター制度》

希望者には日本人のボランティア・チューターが放課後に会話の練習相手をします。

《付属の施設の利用》

日本語学科のある横浜中央YMCAには、プール・トレーニングルーム及びランニングトラックがあります。日本語学科の学生は、指定された時間に無料で利用することができます。

《2021年度・2022年度 主な進学先》

大学院：立命館大学大学院・東京藝術大学大学院 など

大学：尚美学園大学・恵泉女学園大学 など

専門学校：横浜YMCA学院専門学校（国際情報ビジネス科）・専門学校桑沢デザイン研究所・

横浜デザイン学院・日本工学院専門学校・あずま工科専門学校・専門学校日産自動車

大学校・横浜システム工学院専門学校 など

《2021年度・2022年度 主な就職先》

dreamTank株式会社・株式会社ジャパンプランニング・株式会社ユアサデザインルーム・

友盛貿易株式会社・ANARKIA合同会社・株式会社WEAVUS・株式会社サンウェル・

株式会社一井・株式会社ワンダーテーブル など

《2021年度・2022年度 日本語能力試験受験結果》

第1回 N1 受験者 7名 N1 合格者 2名 / N2 受験者 32名 N2 合格者 18名

第2回 N1 受験者 14名 N1 合格者 8名 / N2 受験者 19名 N2 合格者 10名

■ 出願書類：10ページをご覧ください。

けんこう ふく しせんもんがっこう ★ Y M C A 健康福祉専門学校 ★

けんこう ふく しせんもんがっこう にほんごがっか しんがく ひつよう にほんごりよく ようせい とうせんもんがっこう
Y M C A 健康福祉専門学校 日本語学科では、進学に必要な日本語力を養成するとともに、当専門学校の
にほんじんがくせい ちいき かたがた こうりゆう とお しぜん にほんご しゅうとく めざ
日本人学生や地域の方々との交流を通して、自然な日本語の習得を目指します。

■コース：

コース名	入学時期	学習期間
ほんかしんがく ねん 本科進学2年コース	2024年4月	2年 (2024年4月～2026年3月)
ほんかしんがく ねん 本科進学1.5年コース	2024年10月	1.5年 (2024年10月～2026年3月)

※所定の期間在籍し、出席と成績の条件を満たした学生に卒業証書を発行します。

■定員： 総定員120名

※各クラスの人数は最大20名となります。

■授業時間：午前または午後の二部制

いちにち じかん げつようび きんようび しゅういつかかん しゅう じかん ねんかん しゅう じかん
一日4時間、月曜日から金曜日まで週5日間、(週20時間、年間40週・800時間)

◆午前クラス (中級レベル、中上級レベル、上級レベル)

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
9:00～9:50	9:55～10:45	10:55～11:45	11:50～12:40

◆午後クラス (初級 I・IIレベル、初中級レベル)

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
13:00～13:50	13:55～14:45	14:55～15:45	15:50～16:40

※勉強するクラスは、レベルチェックテストの結果で決まります。授業時間、レベルを
選ぶことはできません。

※土・日・祝日は休みです。

※長期休暇があります。詳しくは年間予定表をご覧ください。

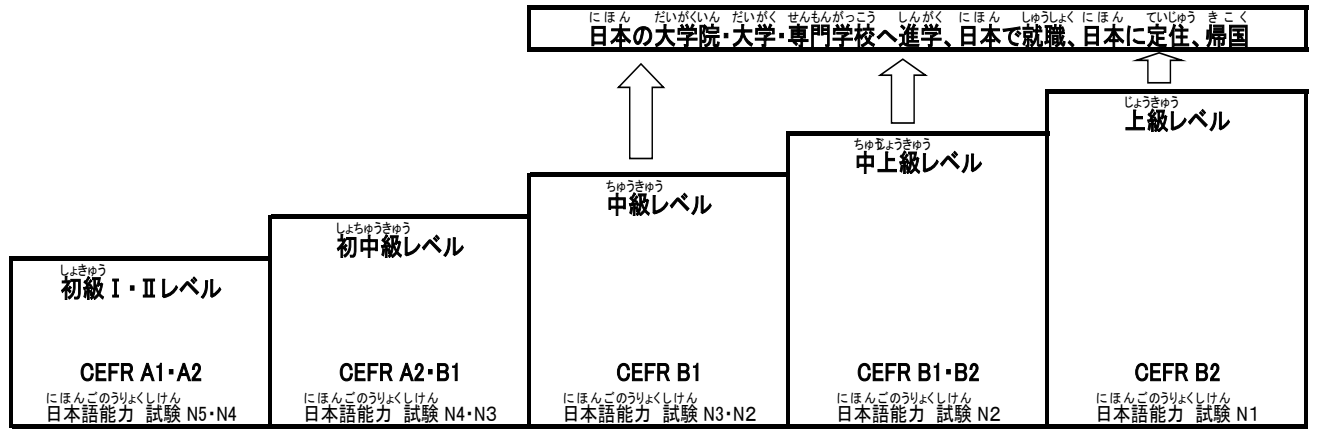
- ☆ 夏休み (8月上旬から8月中旬まで約2週間)
- ☆ 秋休み (9月下旬から10月上旬までの約3週間)
- ☆ 冬休み (12月下旬から1月上旬までの約2週間)
- ☆ 春休み (3月中旬から4月上旬までの約3週間)

■入学資格：①出身国において12年間の学校教育を修了している方、または出身国において大学等の
高等教育機関への入学資格を有する方

②日本語学科への入学には日本語能力検定試験N5 (日本語学習150時間程度) 相当の
日本語力が必要です。

③日本在住の連絡人がある方

■ レベル:



期間	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月
メインテキスト	みんなの日本語 I みんなの日本語 II	みんなの日本語 II 中級へ行こう 中級を学ぼう 中級 前期	中級を学ぼう 中級 中期	新・中級から上級への日本語	新・中級から上級への日本語 学ぼう! にほんご 上級
科目	文字/漢字・聴解 読解・活動	発音・漢字・JLPT 文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT 対策	発音・漢字・JLPT 文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT 対策・日本事情	発音・漢字・JLPT 文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT 対策・日本事情	発音・漢字・JLPT 文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT 対策・プロジェクトワーク
レベルの目安	日常生活に必要な基本的な語彙や表現を身につけ、理解できる。 日常会話や自分についてのことがらが説明できるようになる。	身近な出来事や物、人について、自分の判断を入れたい説明を行うことができる。 日常生活の中で目的に合った交渉ができる。 夢や計画、興味、出来事などについて自分の考えをまとめたり、説明したりすることができる。	社会的、文化的な話題や自分の専門分野の話題について自分の立場や考えを理由、根拠を述べて説明したり、様々な見方、考え方をまとめて意見を述べる ことができる。 話の主導権を握って、コミュニケーションをとることができる。	ある程度抽象的な文章や話でも苦勞せずに内容を理解したり、作成することができる。 緊張しないで母語話者と自然にやりとりできる。 長所や短所等を示しながら自分の考えを説明したり、相手の主張を理解したうえで、自分の意見を論理的に展開できる。	専門外の抽象的な内容を十分理解できる。 母語話者と立場や関係性を自然に使い分けてやりとりできる。 いろいろな話題について明確で詳細な文章や話を作ることができ、客観的に自分の考えを説明できる。

■ ビザの種類: 留学ビザ (2年3 か月または 2年)

■ 出願期間:

コース名	入学時期	出願期間	入管申請	入管結果通知
本科進学2年コース	2024年4月	2023年10月2日(月) ~11月30日(木)	12月中旬	2月下旬
本科進学1.5年コース	2024年10月	2024年4月1日(月) ~5月31日(金)	6月中旬	8月下旬

※出願期間中でも定員になりましたら、出願を締め切る場合があります。

■出願手続：9ページをご覧ください。

■学費：各コースの学費は以下の通りです。

①本科進学2年コース（4月入学）

コース名	入学金	授業料	施設費	合計
本科進学2年コース	100,000円	1,280,000円	40,000円	1,420,000円

※上記以外に教材費など諸経費(6か月毎に20,000円)が必要になります。

※入学時の日本語力に応じた入学金の減免制度があります。詳細は別紙をご覧ください。

上記学費は半年毎の分納ができます。

支払い時期	入学金	授業料	施設費	合計
入学時	100,000円	320,000円	10,000円	430,000円
8月		320,000円	10,000円	330,000円
翌年2月		320,000円	10,000円	330,000円
翌年8月		320,000円	10,000円	330,000円

※一旦納入された学費は日本大使館・領事館でビザの発給を拒否された場合に限り、全額をお返しします。その他の理由で返金することはできません。

②本科進学1.5年コース（10月入学）

コース名	入学金	授業料	施設費	合計
本科進学1.5年コース	100,000円	960,000円	30,000円	1,090,000円

※上記以外に教材費など諸経費(6か月毎に20,000円)が必要になります。

※入学時の日本語力に応じた入学金の減免制度があります。詳細は別紙をご覧ください。

上記学費は半年毎の分納ができます。

支払い時期	入学金	授業料	施設費	合計
入学時	100,000円	320,000円	10,000円	430,000円
翌年2月		320,000円	10,000円	330,000円
翌年8月		320,000円	10,000円	330,000円

※一旦納入された学費は日本大使館・領事館でビザの発給を拒否された場合に限り、全額をお返しします。その他の理由で返金することはできません。

■在日連絡人：9ページをご覧ください。

■経費支弁者：9ページをご覧ください。

■ その他：《住居》

宿舎が必要な方には学校契約の学生寮・提携不動産会社を紹介し、在日連絡人の方を通じて相談してください。

《奨学金》

留学ビザで本校に6ヶ月以上在籍し、成績・出席状況が良好な学生には選考の上、下記の奨学金が受けられます。

- ① 横浜YMCA奨学金（月20,000円、1年間）
- ② 日本学生支援機構・私費外国人留学生学習奨励費（月48,000円、1年間）
- ③ 共立国際交流奨学財団・奨学金（月60,000円、1年間）

《国民健康保険》

留学ビザの学生は全て「国民健康保険」に加入することが必要です。病院や薬局で支払う医療費が30%になります。毎月の保険料（1,000円から2,000円）を学生本人が支払います。

《通学定期》

通学定期の購入と学割の発行が可能です。

《専修学校学生災害傷害保険》

学校の活動の中での災害や事故による死亡・入院・通院について補償します。保険料は学校が支払います。

《健康診断》

学校が費用を負担し、1年に1回健康診断が受けられます。

《ボランティア・チューター制度》

希望者には日本人のボランティア・チューターが放課後に会話の練習相手を行います。

《2021年度・2022年度 主な進学先》

専門学校： 岩谷学園テクノビジネス 横浜保育専門学校・厚木総合専門学校など

《2021年度・2022年度 主な就職先》

株式会社勝浦ホテル三日月 など

《2021年度・2022年度 日本語能力試験受験結果》

第1回	N 1 受験者	0名	N 1 合格者	0名	／	N 2 受験者	3名	N 2 合格者	1名
第2回	N 1 受験者	0名	N 1 合格者	0名	／	N 2 受験者	3名	N 2 合格者	0名

■ 出願書類：10ページをご覧ください。

ざいにちれんらくにん
★在日連絡人★
かくこうきょうつう
(各校共通)

とうこう しゅつがんにん ざいにち れんらくにん ひつよう れんらくにん しゅつがんにしよるい じゅんび ていしゅつ おこな がくせい
当校への出願には在日の連絡人が必要です。連絡人は出願書類の準備、提出を行うとともに、学生の
らいにちご せいかつめん ねが がっこう きょうりょく がくしゅうめん しどう ねが ばあい
来日後は生活面のサポートをお願いします。学校と協力して学習面での指導をお願いする場合もあり
ます。ざいにちれんらくにん しかく つぎ とお こくせき と
在日連絡人の資格は次の通りです。国籍は問いません。

- ① しゅつがんにん しんせき ちじん ゆうじん しゅつがんにしよるいほんにん かぞく よ し かつ
出願者の親戚・知人・友人で出願者本人とその家族を良く知る方
- ② にほん せいかつ きばん かつ にほんご にほん ほうりつ ぶんか しゅうかん よ りかい かつ
日本に生活の基盤がある方で日本語、日本の法律・文化・習慣を良く理解している方

けいひしべんしゃ
★経費支弁者★
かくこうきょうつう
(各校共通)

りゅうがくちゅう すべ けいひ せきにん も ふたん けいひしべんしゃ
留学中の全ての経費を責任を持って負担するのが「経費支弁者」です。
けいひしべんしゃ しかく つぎ とお
経費支弁者の資格は次の通りです。

A しゅつがんにしよるいほんにん けいひ しべん ばあい
出願者本人が経費を支弁する場合

- ① いっぺいきかん ざいしよくれき
一定期間の在職歴があること
- ② りゅうがくちゅう いっさい けいひ しべん のうりょく しょうめい
留学中の一切の経費を支弁する能力があり、これを証明できること

B けいひしべんしゃ ほんこく にいる ばあい
経費支弁者が本国にいる場合

- ① げんそく として しゅつがんにしよるい ちか しんぞく りょうしん きょうだいしまい そふぼ
原則として出願者に近い親族（両親・兄弟姉妹・祖父母など）であること
- ② りゅうがくちゅう いっさい けいひ しべん のうりょく しょうめい
留学中の一切の経費を支弁する能力があり、これを証明できること

C けいひしべんしゃ にほん にいる ばあい
経費支弁者が日本にいる場合

- ① にほんじん ばあい けいひしべん ひ う そうおう かんけい りゅう
日本人の場合は経費支弁を引き受ける相応の関係、理由があること
- ② がいこくじん ばあい げんそく として しゅつがんにしよるい ちか しんぞく りょうしん きょうだいしまい そふぼ
外国人の場合は原則として出願者に近い親族（両親・兄弟姉妹・祖父母など）であること
- ③ りゅうがくちゅう いっさい けいひ しべん のうりょく しょうめい
留学中の一切の経費を支弁する能力があり、これを証明できること

しゅつがんでつづき
★出願手続★
かくこうきょうつう
(各校共通)

- ① しゅつがんにん
出願の際には事前の予約が必要です。日本在住の連絡人が全ての出願書類を揃え日本語学科受付に
しゅつがんにん さい じぜん ややく ひつよう にほんざいじゅう れんらくにん すべ しゅつがんにしよるい そろ にほんごがっかうけつけ
直接出願してください。郵送では受け付けません。選考料（20,000円）は銀行振り込みでお支払くだ
ちよくせつしゅつがんにん ゆうそう うけつ せんこうりょう えん ぎんこうふ こ しほらい
さい。受け付け時間は平日と土曜日の午前9時から午後5時までです。日曜日と祝日は受け付け
うけつ じかん へいじつ どようび ごぜん じ ごご じ にちようび しゅくじつ うけつ
できません。一旦納入された選考料はどのような理由があっても返金できません。
いったんのうにゅう せんこうりょう りゅう へんきん

- ② 選考、「在留資格認定証明書」交付申請
 学内選考会議で適格と判断された方に「入学許可書」を発行し東京出入国在留管理局横浜支局へ「在留資格認定証明書」の交付申請を行います。
 選考の際には必要に応じて現地試験（面接・筆記）、在日連絡人面接等を実施します。

- ③ 出入国在留管理局（以下入管）審査、ビザ発給
 東京出入国在留管理局横浜支局での「在留資格認定証明書」交付申請の審査結果を学校から在日連絡人へお知らせします。交付された方には学費の入金確認後「在留資格認定証明書」をお渡します。入学希望者の自国の日本大使館・領事館でビザの発給を受けてください。

しゅつがんしょるい
★出願書類★
 かくこうきょうつう
(各校共通)

以下の注意をよく読み、記入例を参考にして必要書類を作成してください。

- ① 全ての書類について、入管提出の3ヶ月以内の日付であることが必要です。
- ② ペンまたはボールペンで記入してください。★の書類についてはホームページからダウンロードできます (<http://www.yokohamaymca.ac.jp/jls/>)。
- ③ 手書きで間違った場合は二重線を引いて訂正してください。修正液は使用しないでください。
- ④ ▲の書類について日本語以外で作成された書類には日本語訳をつけてください。訳文には翻訳者の氏名と所属（出願者との関係など）を記載してください。
- ⑤ コピーは全て片面A4サイズで、鮮明なものを提出してください。
- ⑥ 公的な証明書には発行した機関の名称・住所・電話番号・発行者名・発行日が必要です。
- ⑦ ◎の書類は出入国在留管理局が指定する別表に記載のない国・地域からの出願者のみ提出してください。 (<https://www.moj.go.jp/isa/content/001363332.pdf>)
- ⑧ 過去に「留学」やその他の在留資格について在留資格認定証明書交付申請を行い、不交付となった方は必ず申告してください。

※以下の書類の他にも必要に応じて、その他の資料の提出をお願いする場合があります。

《I 出願者本人が提出する書類》

① 入学願書（YMCA指定書式）★

- ・ 日本語、中国語または英語で記入してください。
- ・ 本人のサインと日付を忘れずに記入してください。

② 写真4枚（4cm×3cm）

- ・ 3ヶ月以内に撮影されたものに限りです。
- ・ 写真の裏に氏名・生年月日を書いてください。
- ・ 1枚は入学願書に貼ってください。

③最終学校の卒業証明書類 ▲

- ・最終学校の卒業証書の原本（入管の審査終了後に返却）または卒業証明書を提出してください。

④留学理由書（YMCA指定書式）★ ▲

- ・留学の理由、日本語学校卒業後の計画を本人が具体的に書いてください。

⑤パスポートのコピー

- ・写真のページと日本への入国歴の記載のあるページのコピーを提出してください。

⑥在学証明書または在職証明書 ▲

- ・出願者が学生の場合は在学証明書を、社会人の場合は在職証明書を提出してください。
- ・その他の方は提出の必要はありません。

⑦日本語学習証明書 ▲

- 1) 日本語能力試験の結果通知のコピー、またはその他の公的な日本語力試験の結果通知のコピー
- 2) 日本語学校等が発行した証明書（学習期間・学習時間数・成績・出席率・使用教材を記載）

《Ⅱ経費支弁者が提出する書類》

A 出願者本人が経費を支弁する場合

①経費支弁書（YMCA指定書式）★ ▲

- ・各言語の用紙から1つを選んで使ってください。
- ・記入例の内容を参考にして各言語で記入してください。

②預金残高証明書 ▲

- ・出願者本人名義のもので、日本円で200万円以上の金額であること。

③預金残高の資金形成を証明する書類 ▲ ◎

- ・過去1年分の預金口座の入出金記録など資金形成を証明する書類を提出してください。

B 経費支弁者が本国にいる場合

①経費支弁書（YMCA指定書式）★ ▲

- ・各言語の用紙から1つを選んで使ってください。
- ・記入例の内容を参考にして各言語で記入してください。

②預金残高証明書 ▲

- ・支弁者本人名義のもので、日本円で200万円以上の金額であること

③経費支弁者と出願者との関係を証明する書類 ▲

- ・戸籍謄本、出生証明書など関係が証明できる書類を提出してください。
- ・親族関係にない場合は、関係を具体的に説明した文書を提出してください。

④預金残高の資金形成を証明する書類 ▲ ◎

- ・過去1年分の預金口座の入出金記録など資金形成を証明する書類を提出してください。

C 経費支弁者が日本にいる場合

①経費支弁書 (YMCA 指定書式) ★ ▲

- ・各言語の用紙から1つを選んで使ってください。
- ・記入例の内容を参考にして各言語で記入してください。

②預金残高証明書 ▲

- ・支弁者本人名義のもので、200万円以上の金額であること

③経費支弁者と出願者との関係を証明する書類 ▲

- ・戸籍謄本、出生証明書など関係が証明できる書類を提出してください。
- ・親族関係にない場合は、関係を具体的に説明した文書を提出してください。

④預金残高の資金形成を証明する書類 ▲ ◎

- ・過去1年分の預金口座の入出金記録など資金形成を証明する書類を提出してください。

《Ⅲ在日連絡人が提出する書類》

①在日連絡人誓約書 (YMCA 指定書式) ★

②身分証明書のコピー

- ・運転免許証、在留カードなど写真付きの身分証明書のコピー (両面) を提出してください。

しゅつがん しゅとく にゅうがく なが
出願～ビザ取得～入学までの流れ

ざいにちれんらくにん しゅつがん
在日連絡人 出願
 ※在日連絡人が出願書類を提出し選考料 (20,000円) お支払ください。

YMCA がくないせんこう
学内選考
 ※出願書類、連絡人面接・現地試験 (筆記・面接) の結果をもとに選考します。

YMCA ごうかく にゅうがくきょかしょはっこう
合格 (入学許可書発行)
 ※合格の場合は入学許可書を発行し、不合格の場合は出願書類を返却します。

YMCA ざいりゅうしかく にんていしょうめいしょ こうふしんせい
「在留資格認定証明書」交付申請
 ※学校から東京入管横浜支局へ出願者の書類を提出します。

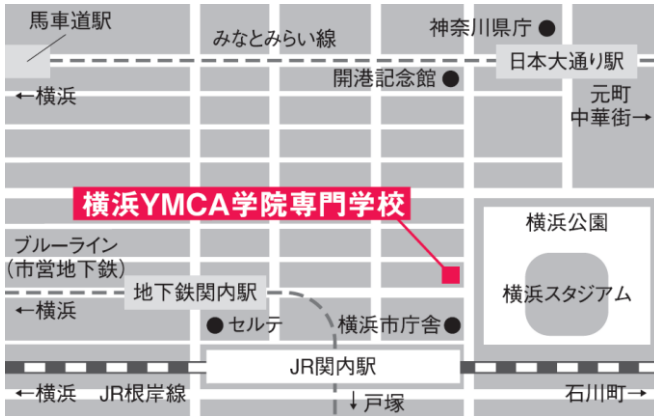
にゅうかん にゅうかん しんさけつかはつびょう ざいりゅうしかく にんていしょうめいしょ はっこう
入管 入管の審査結果発表 (「在留資格認定証明書」発行)
 ※学校が入管から「在留資格認定証明書」を受取り、在日連絡人へ通知します。

けいひしべんしゃ がくひのうにゅう
経費支弁者 学費納入
 ※指定された方法により学費を納めてください。

YMCA ざいりゅうしかく にんていしょうめいしょ そうふ
「在留資格認定証明書」送付
 ※学校から在日連絡人に「在留資格認定証明書」を渡します。

しゅつがんしゃ にほんたいしかん りょうじかん しんせい
出願者 日本大使館・領事館でビザの申請
 ※最寄の在外日本公館でビザの発給を受けてください。

しゅつがんしゃ らいにち にゅうがく
出願者 来日・入学
 ※来日の日程を必ず学校にお知らせください。



よこはま がくいんせんもんがっこう にほんごがっか
横浜YMCA学院専門学校 日本語学科
 〒231-8458 横浜市中央区常盤町1-7
 TEL 045-661-0080 FAX 045-651-0223
 E-mail gakuin-jl@yokohamaymca.org
 http://www.yokohamaymca.ac.jp/jls/
 JR根岸線・横浜市営地下鉄 関内駅 徒歩3分
 みなとみらい線 日本大通り駅 徒歩6分



けんこうふくしせんもんがっこう にほんごがっか
YMCA健康福祉専門学校 日本語学科
 〒243-0018 厚木市中町4-16-19
 TEL 046-223-1441 FAX 046-223-2101
 E-mail kenko-jl@yokohamaymca.org
 http://www.yokohamaymca.ac.jp/jls/
 小田急線 本厚木駅から徒歩4分
 (羽田空港からのリムジンバスで約60分、
 本厚木駅バス停からYMCAまで3分です)